【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公開番号】特開2018-16309(P2018-16309A)
【公開日】平成30年2月1日(2018.2.1)
【年通号数】公開・登録公報2018-004
【出願番号】特願2017-176883(P2017-176883)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｎ　2/427　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　21/207　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｎ　2/427
Ｂ６０Ｒ　21/207

【手続補正書】
【提出日】平成30年5月22日(2018.5.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エアバッグを格納するエアバッグモジュールを装備したシートであって、
該シートのサイド部に沿って延出するサイドフレームを備えたシートバックフレームと、
該シートバックフレームに載置されたクッションパッドと、
前記サイドフレームに取り付けられる前記エアバッグモジュールと、
該エアバッグモジュールの展開方向を案内する案内部材と、
該案内部材を前記サイドフレームに取付けるための取付部材と、を有し、
前記サイドフレームには、前記取付部材を取付けるための取付孔が設けられ、
前記取付部材は、前記案内部材の端部が取付けられた状態で前記取付孔に挿通されており、
前記案内部材の端部の少なくとも一部は、前記取付孔を貫通して配置されていることを特徴とするエアバッグモジュール装備シート。
【請求項２】
前記案内部材は、前記取付部材が取付けられる第一案内部材及び第二案内部材を有し、
前記第一案内部材と前記第二案内部材とは、案内部材連結部で連結されていることを特徴とする請求項１記載のエアバッグモジュール装備シート。
【請求項３】
前記第一案内部材及び前記第二案内部材のそれぞれは、端末側を縫製した第一縫製部及び第二縫製部を有し、
前記案内部材は、前記シートの表皮と第三縫製部において縫合されており、
前記第一縫製部及び前記第二縫製部の長さは、前記第三縫製部の長さよりも短いことを特徴とする請求項２記載のエアバッグモジュール装備シート。
【請求項４】
前記案内部材連結部の長さは、前記第三縫製部の長さよりも短いことを特徴とする請求項３記載のエアバッグモジュール装備シート。
【請求項５】

前記案内部材の少なくとも一部は、前記エアバッグモジュールよりも前方に配置されることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか一項記載のエアバッグモジュール装備シート。

【請求項６】
前記クッションパッドは、前記サイドフレームの側方に配置される側面パッド部を有し、
前記側面パッド部には、前記案内部材を挿通する開口が形成され、
前記案内部材は、前記開口の端部に当接していることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか一項記載のエアバッグモジュール装備シート。

【請求項７】
前記案内部材の少なくとも一部は、前記開口よりも前方に配置されることを特徴とする請求項６記載のエアバッグモジュール装備シート。

【請求項８】
前記エアバッグモジュールは、インフレータを備え、
前記案内部材の後端は、前記インフレータよりも前方に配置されることを特徴とする請求項１乃至７のいずれか一項記載のエアバッグモジュール装備シート。

【請求項９】
前記案内部材は、前記クッションパッドの裏面に当接していることを特徴とする請求項１乃至８のいずれか一項記載のエアバッグモジュール装備シート。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
前記課題は、本発明のエアバッグモジュール装備シートによれば、エアバッグを格納するエアバッグモジュールを装備したシートであって、該シートのサイド部に沿って延出するサイドフレームを備えたシートバックフレームと、該シートバックフレームに載置されたクッションパッドと、前記サイドフレームに取り付けられる前記エアバッグモジュールと、該エアバッグモジュールの展開方向を案内する案内部材と、該案内部材を前記サイドフレームに取付けるための取付部材と、を有し、前記サイドフレームには、前記取付部材を取付けるための取付孔が設けられ、前記取付部材は、前記案内部材の端部が取付けられた状態で前記取付孔に挿通されており、前記案内部材の端部の少なくとも一部は、前記取付孔を貫通して配置されていること、により解決される。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
このとき、前記案内部材は、前記取付部材が取付けられる第一案内部材及び第二案内部材を有し、前記第一案内部材と前記第二案内部材とは、案内部材連結部で連結されていると好適である。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
このとき、前記第一案内部材及び前記第二案内部材のそれぞれは、端末側を縫製した第

一縫製部及び第二縫製部を有し、前記案内部材は、前記シートの表皮と第三縫製部において縫合されており、前記第一縫製部及び前記第二縫製部の長さは、前記第三縫製部の長さよりも短いと好適である。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
このとき、前記案内部材連結部の長さは、前記第三縫製部の長さよりも短いと好適である。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
このとき、前記案内部材の少なくとも一部は、前記エアバッグモジュールよりも前方に配置されると好適である。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
このとき、前記クッションパッドは、前記サイドフレームの側方に配置される側面パッド部を有し、前記側面パッド部には、前記案内部材を挿通する開口が形成され、前記案内部材は、前記開口の端部に当接していると好適である。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
このとき、前記案内部材の少なくとも一部は、前記開口よりも前方に配置されると好適である。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
このとき、前記エアバッグモジュールは、インフレータを備え、前記案内部材の後端は、前記インフレータよりも前方に配置されると好適である。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】

このとき、前記案内部材は、前記クッションパッドの裏面に当接していると好適である。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
本発明によれば、シートバックフレームにクッションパッドが載置された状態で、シートバックフレーム後方から見たときに、シートバック背面側から取付部材を視認することが可能となり、エアバッグモジュール取付時等に、案内部材及び取付部材が適切に取り付けられているか否かを目視で容易に確認することが可能となる。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】削除
【補正の内容】